

南 風 2019年5月 第28号

# みなみかぜ

発行 有秋南小学校区安心安全ネットワーク  
問合せ 姉崎保健福祉センター TEL 62-8601

## 令和へ

### 人々が 美しく心を寄せ合う 社会を！

有秋南小学校区は、約2,400世帯、5,300人が暮らす「古くからの村落と昭和40～50年代に開発された住宅団地」が併存する郊外地域である。こうした地域構成もあって当地域は、高齢化率や高齢者独居率が極めて高く「高齢者のみ世帯」が約950世帯あり、その内の約400世帯が独居である。高齢化の進行と共に独居率も進行し続ける。介護・医療を含む日常生活の不安も増大し、地域の支え合い・助け合いは必須です。

私たち「南小ネットワーク」は、この状況に鑑み“一人ひとりを尊重し、共に支え合い、みんなで創る私たちのまち”の基本理念のもと、1.子ども、高齢者や障がい者とふれ合い・支え合う活動 2.防災・減災に強い安全なまちづくり活動 3.私たちの活動をより推進するための自己研鑽や広報活動 等に取り組んでいます。

今年度も地域諸団体との連携強化を図り、地域の方一人ひとりの協力を得て“共助のまちづくり”に努めたいと思います。 (笹野)

### 見守りVR募集中

見守り訪問をお願いしたい方、お手伝いをしてみたい方 /見守り・支え合いの楽しさを体験しよう！

南小ネットワーク

### 狙われている電話詐欺にだまされないで！

息子や孫、市役所職員、金融機関職員を名乗る者から、「カバンを落した」とか「保険金の過払い金がある」など嘘の電話が多数かけられています。携帯電話をしながらATMを操作している人を見たら声掛けを。また電話de詐欺の可能性が高いことから警察に連絡しましょう。



### 令和元年度（第8回）定期総会を開催

日時；平成31年4月16日 18時30分～20時10分  
 場所；桜台自治会館 2F大会議室  
 出席者数；26人、委任状提出者；16人  
 来賓；市原市役所地域包括ケア推進課 奥津保之  
 市原市社会福祉協議会 地区担当 富樫一貴  
 司会進行；井倉、議長；笹野、書記；奈良輪

### 総務部

#### (1) 会員相互の連携・協働を深める

- ① 防災研修会、懇親会の開催  
 平成31年1月30日（水）  
 ・「応急処置」講座  
 講師 土橋康夫氏（当ネットワーク理事・市災害ボランティアNW会長）  
 止血方法と骨折時の応急処置について学んだ。  
 ・おでかけくん講座「自分たちの住む町の災害リスクと備え」  
 講師 危機管理課 内田豪氏（地域防災マネージャー）  
 生きることを最優先に自助の原点に則り、それに備え危機意識の高揚が図れた。  
 ・反省会兼会員相互の懇親会  
 自己紹介並びに情報交換を行い、

### 子ども支援部

#### (1) 子どもたちを支え

#### 育てる活動（学校・PTA支援活動）

学校支援については、一応出来たと思います。又PTA活動については、バザー・ベルマークについては何とか出来ました。

PTA会長とのコミュニケーションを持ちたいと考えています。

#### (2) 地域の安全を守る仕組みづくり（防災・防犯支援活動）

総合防災訓練がなかったため、各人各自治会に協力されたことと思います。

#### (3) 安心生活見守り支援活動

見守り委員会にて「会議日程を決めた」ことが良かった。しかし、見守り員の増員にもっと努力が必要かと反省。

#### (4) 歳末たすけあい事業（歳末助け合い運動）の実施

今年は、12月9日にクリスマスコンサートを開催しましたが、皆様のご協力のお蔭さまで126名の参加が有。感謝いたします。お手伝い頂いた推進員の方々には、お礼申し上げます。

### 安全部

#### (1) 地域の安全を守る仕組みづくり

① 市原市総合防災訓練（9/2有秋東小会場）に各町会より代表者が参加した。また、各町会として

## 平成30年度活動報告

の全戸安否確認訓練を実施した  
 ② 市より「避難行動要支援者」名簿が各町会に配布されたが「個別プラン」推進についてNWとしての対応はなかった

③ 「南小災害対策本部」とNWメンバーの全体顔合わせは今年度未実施

④ 南小防災・防犯関連行事への対応としてマラソン校外見守り、防災街歩き同行およびマップづくりに参加した

#### (2) 防災意識・行動の啓発活動

① 西日本豪雨被災調査状況より

・「避難行動要支援者」への「個別プラン」の重要性（死者の8割が要支援者）

・ 居住場所に対応した避難行動と避難の声掛けの大切さ

② 市原市地区防災計画策定の目的と概要について

・ 行政対応の限界と自助、共助、近所のあり方

③ 防災とボランティア講演会および防犯推進リーダー研修会より

・ 地域の防災訓練と防災活動のあり方（一番安全な場所・状態は？）

・ 大災害発生時の消防救助トリアージについて

・ 便利さのウラに潜む犯罪の増加について（オレオレ⇒アポ電詐欺＝強盗）



より一体感が図れた。

参加者27名（内見守り訪問員6名）

② 安心訪問グループとの合同研修会（フォローアップ研修）及び懇親会

平成30年7月26日（木）

テーマ：「介護施設について」

講師：地域包括センターたいよう 津田氏・西畑氏

施設の特徴（費用・入所条件・室タイプ…等）について、また高齢者の福祉サービスについて知識の習得を得た。

反省点として、質問時間が少なかった。次回検討したい。

懇親会：年一回の合同研修会だったが情報は共有出来て良かった。

参加者：22名

③ 「避難所運営訓練」（地区社協・ネットワーク共催）を11月11日（土）有秋公民館体育室にて行った。





(2)地域情報を共有するための広報誌「みなみかぜ」の発行

第24号(2018 5月発行)、第25号(2018 8月発行)、特別号(2018 5月発行)、第26号(2018 11月発行)、第27号(2019 2月発行)

(3)先生、保護者及び学校支援ボランティアとの交流を深める。

①運動会参加、バザーの手伝い、マラソン立ち合い、グランド草刈作業やありがとう集会などに参加し交流した。

②PTAのベルマーク整理に応援をした。

**安心訪問グループ/安心生活見守り支援事業**

(1)魅力ある訪問方法を工夫しよう

①新規のイベント等を行う事は出来なかった。しかし、クリスマスプレゼントは、昨年に続いて今年も贈った。

②地域の見守り合いの必要性を理解し合うことが先ず必要ではないか。

(2)隠れた訪問希望者を顕在化しよう

①桜台お助けマン等の団体の協力を得て、情報収集や訪問活動の説明を行ってきたが、参加者を増やせなかった。

②椎の木台では、会員でない人たち(見守り希望者に登録していない人々)に対するごく自然な見守りがなされていて、訪問員会議でも話し合わせ情報共有がなされている。

③見守り希望者・安心訪問員の募集チラシを新しく作成したので新年度より活用したい。

(3)支え合い・助け合いの地域づくりに寄与しよう。

①「みなみかぜ」(NO. 25, NO. 27)において、ここ南小校区地域の人口構成を検討し、共助のまちづくりについて考察した。「声かけ」・「あいさつ」は誰でもできる。一人ひとりが自分の出来ることからやってみようと呼びかけた。

(4)事業参加者数(2019. 4. 1現在)

- ・訪問希望者; 17名
- ・安心訪問員; 27名



**令和元年度活動計画**

**3つの目標と事業/活動**

(1) 共助のまちづくりを進めよう!

- ①子どもたちを支え育てる活動
- ②高齢者・障がい者などを見守り支える活動
- ③全員参加のまちづくり活動(広報・啓発活動の充実)
- ④歳末たすけあい事業

(2) 安全なまちづくりを進めよう!

- ①地域の安全を守る仕組みづくり
- ②防災意識・行動の啓発活動
- ③防災研修の実施

(3) ネットワーク活動を推進しよう!

- ①自己研鑽・相互研鑽活動
- ②他団体との連携強化活動

**子ども支援部**

(1)子どもたちを支え育てる活動(学校・PTA支援活動)

学校行事のスケジュールを把握して、少しでも多くの会員にご協力を頂きたい。

PTA活動については会長との「話し合い」を重ねて応援していきたい。

(2)防災・防犯支援活動

防災訓練には子ども支援部の協力を頂き、できるだけ多く参加していきたい。

(3)安心生活見守り支援活動

今年も、自治会のご協力を頂き、何とか見守り訪問員の増員を図ると共に見守り希望者も声かけしたいと思います。

(4)歳末助け合い運動の実施

今年も12月にクリスマスコンサートを開催したい。

**安全部**

(1)地域の安全を守る仕組みづくり

- ①市原市総合防災訓練機会の活用
- ②市原市地域防災計画策定の準備対応
- ③避難行動要支援者、支援「個別プラン」推進情報交換

- ④南小学校防災・防犯行事への対応

(2)防災意識・行動の啓発活動

- ①防災・防犯関連研修、講演への参加によるレベルアップ
- ②南小学校「防災教室」の運用フォロー

**総務部**

(1)自己研鑽・相互研鑽活動/会員相互の連携・協働を深める。

- ①研修会、懇親会の開催
- ②安心訪問グループとの交流を深める。
- ③「市原市総合防災訓練」に積極的に参加する。

(2)広報活動・啓発活動の充実/地域情報の共有化に努める。

「みなみかぜ」の発行(年4回)

(3)他団体との連携強化活動

- ①先生・保護者及び学校支援ボランティアとの交流を深める。
- ②保護者(PTA)に対して、NW活動の内容をアピールしていく。

**安心訪問グループ**

(1)見守りの考え方・方法を再考しよう。

- ①課題解決の手順を理解しよう。民生委員、地域包括支援センターとの連携強化を。

②見守り対象は、高齢者だけか。

(2)隠れた訪問希望者を顕在化しよう(声かけを)。

- ①見守り・支え合いの地域づくりに寄与しよう。





**南小先生の移動**

(平成31年度定期人事異動) <敬称略>

**【転出】 / ご指導頂き有難うございました**  
 校長 福原昌章 市原中学校へ  
 教諭 犬塚晶子 袖ヶ浦市立長浦小学校へ

**【転入】 / 今後ともよろしくお願ひ致します**  
 校長 井上 久 市原市立鶴舞小学校より  
 教諭 重城裕紀 木更津市立岩根小学校より  
 講師 田中千尋 新規採用



**グラウンドで応援しよう！**

**南小春季大運動会**

平成30年5月25日(土)

(雨天順延)

午前8時30分～14時30分

敬老席もあります！

みんなでゆっくり楽しもう！

**イベント案内 (5月～7月)**

| 月 | 日  | 曜 | 行 事            |
|---|----|---|----------------|
| 5 | 17 | 金 | 南小引渡し訓練        |
| 5 | 19 | 日 | 市内一斉清掃デー       |
| 5 | 21 | 火 | NW推進委員会 (椎の木台) |
| 5 | 22 | 水 | 南小草刈ボランティア     |
| 5 | 25 | 土 | 南小春季大運動会       |
| 5 | 28 | 火 | 桜台訪問員会議        |
| 6 | 1  | 土 | 有秋中体育祭         |
|   |    |   | 椎の木台訪問員会議      |
| 6 | 18 | 火 | NW推進委員会 (桜台)   |
| 6 | 19 | 水 | 南小草刈ボランティア     |
| 7 | 14 | 日 | 有秋地区盆踊大会       |
| 7 | 16 | 火 | NW推進委員会 (椎の木台) |
| 7 | 17 | 水 | 南小草刈ボランティア     |
| 7 | 23 | 火 | 安心訪問員会議        |
| 8 | 20 | 火 | NW推進委員会 (桜台)   |
| 8 | 21 | 水 | 南小草刈ボランティア     |

**南小ネットワーク会員名簿**

| 氏名        | 役職        | 専門部*1 | 所属            |
|-----------|-----------|-------|---------------|
| 榎野 哲郎     | 会長        | 総務部   | 桜台お助けマン互助会    |
| 合田 祐二     | 副会長/子ども部長 | 子ども部  | レクリエーション協会副会長 |
| 星野 勝弘     | 理事        | 安全部   | 桜台自治会会長       |
| 奈良輪 義男    | 監事        | 子ども部  | 椎の木台自治会相談役    |
| 青木 勇司     | 理事/安全部長   | 安全部   | 県災害対策コーディネーター |
| 井倉 健二     | 副会長/総務部長  | 総務部   | 椎の木台自治会監事     |
| 宇井 明      | 理事        | 安全部   | 天羽田町会長        |
| 豊田 博      | 理事        | 安全部   | 深城町会長         |
| 伊井 政志     | 副会長       | 安全部   | みどり町会長        |
| 大津 弘美     | 理事/安全副部長  | 安全部   | 椎の木台自治会会長     |
| 土橋 康夫     | 理事        | 安全部   | 市災害ボランティアNW会長 |
| 井上 久      | 理事        | 総務部   | 有秋南小学校校長      |
| 坂井 真由美    | 理事/総務副部長  | 総務部   | 民生委員児童委員      |
| 小川 洋介     | 理事        | 安全部   | 福祉NW推進委員      |
| 藤原 忠      | 監事        | 安全部   | 明推協           |
| 並木 典子     | 会計        | 総務部   | 民生委員児童委員      |
| 藤田 富紀子    | 副会長       | 子ども部  | 元主任児童委員       |
| 山本 知子     | 推進委員      | 子ども部  | 元民生委員児童委員     |
| 荒木 正範     | 推進委員      | 安全部   | 有秋南小学校教頭      |
| 西山 茂紀     | 推進委員      | 子ども部  | 元椎の木台自治会副会長   |
| 荒牧 克彦     | 推進委員      | 総務部   | 桜台自治会副会長      |
| 中島 義幸     | 推進委員      | 子ども部  | 有秋南小学校PTA顧問   |
| 轟木 清彦     | 推進委員      | 子ども部  | 有秋南小学校PTA顧問   |
| 佐々木 美和    | 子ども副部長    | 子ども部  | 有秋南小学校PTA顧問   |
| 亀田 昭博     | 推進委員      | 子ども部  | 有秋南小学校PTA会長   |
| 木村 かおる    | 推進委員      | 総務部   | ホームヘルパー       |
| 鈴木 俊一     | 協力員       |       | 民生委員児童委員      |
| 青木 祥代     | 協力員       |       | 元民生委員児童委員     |
| 鈴木 節子     | 協力員       |       | 元社協有秋支部       |
| 野口 良枝     | 協力員       |       | 更生保護女性会       |
| 小島 弘子     | 協力員       |       | 更生保護女性会       |
| 竹内 秋子     | 協力員       |       | 民生委員児童委員      |
| 岩崎 キヌエ    | 協力員       |       | 女性部会          |
| 泉水 清      | 協力員       |       | 町会役員OB        |
| 泉水 和浩     | 協力員       |       | 青少年相談員        |
| 田久保 茂     | 協力員       |       | 有秋南小PTA役員OB   |
| 亀田 文夫     | 協力員       |       | 町会役員OB        |
| 小原 幸治     | 協力員       |       | 町会役員OB        |
| 鎌田 敏子     | 協力員       |       | 民生委員児童委員      |
| 原田 美津子    | 協力員       |       | 民生委員児童委員      |
| 大野 昭利     | 協力員       |       | 天羽田町会長代理      |
| 悦喜 昭男     | 協力員       |       | 桜台お助けマン互助会    |
| 千葉 修二     | 協力員       |       | 町会役員OB        |
| 東島 光子     | 協力員       |       | 更生保護女性会       |
| (市社協地区担当) |           |       |               |
| 富樫 一貴     |           |       | 市社会福祉協議会      |

**編集後記**

今年も南小に14人の新入生が入学して来た。市原市人口統計によると、この校区地域の5歳、4歳および3歳児の人数は、25人、28人、24人となっていて、何故か今年には極端に少ない。同級生が少ないことは色々ハン

ディも多いと思うが頑張っ

て欲しいと思う。  
 新年度になって、登校中の子どもたちを見ていて気持ち良いことがある。先生の指導もあったのだろうが、年長の班長・副班長が、下級生を“よく取りまとめ”、“しっかりと見守る”気配りの姿である。子どもたちも見事！ (S.T)